

令和4年度 第1回多摩高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和4年5月19日（書面開催）

議 題：令和4年度学校評価（目標設定）等についての意見聴取

書面提出者：5名

○令和3年度総括を基に令和4年度の取組等について、意見・感想を書面で提出いただいた。

○意見・感想の丸付き数字は、1年間の目標の丸付き数字と対応している。

	意見・感想
委員 A	<p>■令和4年度学校評価報告書（目標設定）について</p> <p>①教育課程・学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新カリ導入に向けて該当学年生徒はかなり意識させられてきたと思うが、その趣旨や多摩高での捉えについて丁寧な説明が必要だと思うが、どの場面でどのように生徒・保護者に説明をしたのか。 ・海外の高校との共同研究交流に大いに期待する。具体の計画があれば提示して欲しい。 <p>②生徒指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に部活動について引き継がれている従来の伝統等を現代の社会情勢に鑑み、どう生かしていくのか。恐らく部活ごとの伝統のようなものがあるはず。 <p>③進路指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着実に合格実績が伸びている。また、校舎改築も含め施設面からも川崎地区の私学も含めた憧れ校1位となるもの必然と考える。スクールミッションも含め、多摩校生に対しては、将来のリーダーとなるべく、上級学校進学後の学力・能力が大いに気になるところである。文理協働も含め、高校での幅広い学習を望むところである。 <p>④地域等との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実的な地域防災のリーダーとしての企画・実践の工夫を望む。 <p>⑤学校管理・学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革」は気になる。教科指導、学校経営、SSH指導、部活指導等での工夫・実践を地域の学校に開示し、副校長会や教頭会で議論を起こしてほしい。どんな時代になっても生徒や社会が教員に求めることは大きいから。
委員 B	<p>■令和4年度学校評価報告書（目標設定）について</p> <p>多摩高校の実態、求められる期待、生徒育成の使命を踏まえた適切な目標であると捉えました。教育交流、地域交流、外部機関と連携した高度な専門的研修の機会が十分に実施されることを期待しています。</p>
委員 C	<p>■令和4年度学校評価報告書（目標設定）について</p> <p>令和3年度は、コロナ禍にもかかわらず色々な分野への取り組みがあり、多くの成果を得たことは自信になると思います。指導に当たった先生方の努力の結果と考えます。令和4年度はコロナ感染の状況は定かではありませんが、これまでの経験を活かし目標達成に向け頑張ってください。3年生は入学以来コロナ感染の影響を受けてきましたので、最終学年は楽しい高校生活を送れるように願っています。</p>
委員 D	<p>■令和4年度学校評価報告書（目標設定）について</p> <p>①教育課程・学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な取り組みをますます充実させるとのことで、期待しております。その効果については「情熱メラーキ」に掲載されている生徒の感想からうかがえ、生徒が深い気づきを得ていることがわかります。 ・履修指導について焦点が当てられており、学びを深めたいことがまだ見つからない生徒にとって心強いのではと思います。先生方との面談を重ねることで自分の道を見つけていってほしいと感じます。 ・オンライン授業も2年となり工夫と改善を重ね、知識を蓄積されていることが見受けられます。通常の授業だけでなく外部講師の講義や海外の高校生との交流にも活用されていることでその様子がわかります。今年度もますます充実していくことと思います。 ・SSHの取り組みにおいても、部活動の発足というさらなる発展が見られ素晴らしいと思います。

	意見・感想
	<p>②生徒指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で行事や部活動を変更する場合、意見集約の期間を設けるという取り組みに注目しています。これまでも生徒の気持ちを汲んだ指導を行ってくださっていましたが、生徒同士が話し合う期間を作ることで、より生徒が自分たちで作りに上げている自覚を持つことができ、結論を出す過程の紆余曲折も自己の今後の糧になっていくと確信します。 ・充実した環境の一方で、悩み不調を訴える生徒が増えています。先生の親身なご対応に感謝しています。解決策はなかなか見つからないことではありますが、その生徒が自分のままでいいと安心できるように寄り添っていくことが必要かもしれないと感じています。 <p>③進路指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導について先生方の不断のご努力に感謝いたします。結果にも表れていると感じます。 <p>④地域等との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA としても、生徒の応援という共通認識をもち、温かい見守りをしていきたいと思えます。 <p>⑤学校管理・学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度改善方策等の①について、先生方の強い決意を感じました。目には見えない部分ですが、リーダーシップを取る方のこのような強い意識が求心力を増し、全体に良い影響が広がっていくのではないのでしょうか。 <p>■学校目標等に関する意見、質問等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な感想といたしまして、今年度も生徒にとって必要な環境を整えてくださり、保護者としても心から感謝いたします。令和3年度の成果と課題を冷静に分析され、改善方策を打ち出され、それを令和4年度の目標に反映されていると感じます。実はこの方法は、そのまま生徒たちが身に付けたい能力なのではないかと客観的に拝見し気づきました。実際的な教育効果もあると同時に、先生方の取り組みを生徒に見せるという「背中を見せる」ような教育としての働きもあるのではないのでしょうか。
委員 E	<p>■学校目標等に関する意見、質問等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSH としての取り組みには毎回感服致します。特に、生徒の関心や能力育成まで考えられ、さらに Meraki ラボまで設定されているのは非常に充実していて羨ましい限りです。ここまでシステムチックな教育は公立校では類をみないのではないのでしょうか？ 最近の大学合格者実績に反映されていると感じます。 また、学力だけではなく、「人を尊重し、多様性を認める豊かな人間性と自己肯定感を基盤とした、社会に貢献する人材の育成」という教育目標は、多摩高の校訓の自重自恃にも繋がりが、感動いたしました。 校長先生から自重自恃のお話を伺ってからすっかりこの言葉のファンとなりました。あまりなじみのなかった熟語ですが、SNS 等で引っ張ると神奈川県立多摩高校の校訓として出てきます。嬉しいです。先日の同窓会役員会の折にも紹介させていただきました。益々広まって欲しいものです。